



山本 光晴

### 「家庭用雨水タンク設置に補助を」

**問** 高料金をいただいている水道事業において、使用者は当然節水を考える。

売り手は、使っていたくことによって経営の安定を考える。

住民サービスとして下記に示す家庭用雨水タンクの設置に助成の制度を提案する。

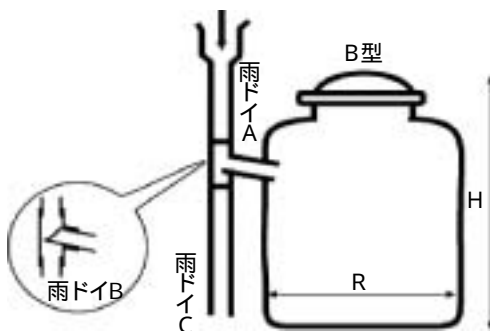
タンクに雨水をため、ポンプを装着してトイレや洗濯、洗車などに活用できる。

**答** 都市部においては一定の効果は期待できるが、本町においてはこの助成の効果、必要性が期待できないと思う。

**問** 下水道へ接続する際の合併浄化槽への切替助成金が10万円出ているが、この金でポンプアップし

て水回りに活用することは可能か。

**答** 町として切替助成をしているので、個人の考えですることは可能である。



参考 猪名川町の助成  
家庭用タンク  
設置費用総額の3分の2 上限3万5千円  
浄化槽転用  
設置費用総額の3分の2 1件につき10万円限度

## 一般質問



木戸 俊治

学校再編と将来の町づくりについて

**問** 地域から学校がなくなることは、地域の弱体化につながり、町全体の衰退に及ぶものと思われる。PTAや区単位の説明会等また、大阪府との交渉の進捗状況について伺いたい。

**答** 区長代表者会議、PTA協議会会長会議での説明会の設定依頼など住民への説明に努めている。地域の学校がなくなることや、通学の足の確保等についての質問が寄せられている。なお、いつでもという訳にもいきませんが、特に期限は限定していません。

また、大阪府とは、八月策定の府財政構造改革プランで、廃止施設の中に府民牧場が明記されたところであり、町の今後のスケジュールや住民への説明状況を含め協議しているところである。

- 一、学校再編と将来の町づくりについて
- 二、「下排水マスタープラン」見直しによる事業の現況と浄化槽との棲み分けについて
- 三、国道四七七号黒川地内、道路法面崩壊の復旧見直しについて

**問** 学校と地域の連携を深め、人が増えるよう施策を考えなければと思うが、学校再編と将来の町づくりについて伺いたい。

**答** 再編後の学校施設については、地域の意向を十分伺い、コミュニケーション推進の核となる利活用を図り、すぐれた自然環境での学校づくりを推進したいと考えている。耐震のことも含め急がなければと思う。

「下排水マスタープラン」と浄化槽との棲み分けについて

**問** マスタープランの目標が平成三十七年に設定されたが、今後更に合併浄化槽が普及すると、公共下水道及び農集排施設共に接続率の低下が予測される。また、使用料も一般財源からかなりの繰り出しを行っている。行政サービスは本来平等であるべきであり、地域によっては市町村設置型の

合併浄化槽の普及を図ることも必要と考えるが町の方針はどうか。

**答** 住民の皆様には、浄化槽での国の制度、仕組みは紹介するが、推奨はしないと伝えざるを得ない。本町はやはり、公共下水道、集落排水集合処理を基本として進めていくと申し上げたい。

国道四七七号の復旧見直しについて

**問** 七月十四日の集中豪雨による崩落箇所の早期復旧について伺う。

**答** 兵庫県宝塚土木事務所の情報によれば、国の査定を受け、十一月上旬頃の発注予定で、排水機能を高めた盛り土工法により、来年三月末の東郷バイパスとあわせ開通出来たらとの説明を聞いている。本町としては、早期の復旧を要請し、適宜広報等で住民に周知をしたいと考えている。